

# S E R I NEWS RELEASE

平成20年4月15日  
財団法人 静岡経済研究所  
理事長 古知弘行

〒420-0853 静岡市葵区追手町1-13  
アゴラ静岡 5階

TEL 054-250-8750  
FAX 054-250-8770

平成20年4～6月期 静岡県内主要産業の四半期見通し

## 減速感が強まる県内産業景気

当所が実施した県内主要産業（22業種）の四半期見通し調査によると、現在（1～3月期）の業況は、『好調』が1業種（工作機械）、『順調』も1業種（情報サービス）、『普通』が8業種、『低調』が11業種、『不調』が1業種となった。県内の産業景気は底堅いものの、『普通』以上とする業種が10業種と、全体の半数を割り込んでおり、減速感が強まっている。

また、今後（4～6月期）については、全22業種中21業種が『横ばい』を見込む。工作機械や情報サービスは引き続き堅調な見通しであるが、米国経済の後退や円高、原材料の高騰などの懸念材料が広がりつつあることから、外需と設備投資に支えられて底堅い推移を続けてきた県内の産業景気も先行き不透明感が強まっており、踊り場状態に入っているとみられる。

### 県内主要産業の動向

#### （1）現在の業況について

県内主要産業の現在（1～3月期）の業況は、『好調』が1業種（工作機械）、『順調』が1業種（情報サービス）となり、以下、『普通』が8業種、『低調』が11業種、『不調』が1業種となった。前回調査より『普通』が1業種減少する一方で『低調』が1業種増加し、全業種の平均階級値は2.55（前回調査比 0.04ポイント）と、2期連続で低下した（[次頁図参照](#)）。県内の産業景気は底堅いものがあるが、『普通』以上とする業種が10業種と、全体の半数を割り込んでおり、米国経済の後退や、円高、原材料の高騰が進む中で、減速感が強まっている。

## (2) 今後の見通しについて

4～6月期の見通しについては、全22業種中21業種が『横ばい』、1業種（缶詰）が『やや上昇』を見込んでいる。業種ごとにみると、工作機械や情報サービスは引き続き堅調さを持続できる見通しであるが、米国経済の後退や円高による収益環境の悪化といった懸念材料も出始めており、こうした懸念は、二輪車部品、自動車部品、楽器など、北米市場への依存度が高い外需関連産業全体に広がっている。一方、原油をはじめとする原材料価格の高騰は、家具、製紙、繊維、運輸・倉庫など内需関連産業を中心に、収益の圧迫要因となっている。このほかでは、飲料やエアコンなど季節性の強い業種において、気温の上昇に期待する向きも一部にはあるが、全体的には好材料に乏しい。

## (3) 需給バランス、在庫水準、価格動向について

原材料価格の『上昇』を見込む業種は、前回調査の15から14へと1業種減少し、製品価格の『上昇』を見込む業種は前回の3から4に増加したものの、上昇する原材料価格の製品価格への転嫁は進展していない。一方、需給バランスは、『供給超過』が8業種と前回調査に比べて3業種増えるなど、販売動向への影響が懸念される。

外需と設備投資に支えられて底堅い推移を続けてきた県内の産業景気だが、原材料高騰や円高などにより先行き不透明感が強まっており、踊り場状態に入っているとみられる。

### 四半期ごとの県内産業の業況の推移

年次		平成17年			平成18年			平成19年			平成20年		
四半期											(今回調査)		
対象月(は調査月)		4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～
現在の業況	好調	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	順調	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1
	普通	5	6	8	7	7	7	9	10	11	11	9	8
	低調	12	12	9	10	11	11	9	9	8	8	10	11
	不調	3	2	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1
全業種の平均階級値		2.32	2.41	2.45	2.55	2.59	2.59	2.68	2.64	2.68	2.68	2.59	2.55
好調: 5													
順調: 4													
普通: 3													
低調: 2													
不調: 1													
今後の見通し	上昇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	やや上昇	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1
	横ばい	21	19	22	22	21	20	21	21	22	22	22	21
	やや下降	1	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
	下降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1) 調査は、毎年3、6、9、12月に実施。現在の業況とは、調査時点（3月調査なら1～3月期）における業況、今後の見通しとは、調査時点における翌期（3月調査なら4～6月期）の見通しを示す

注2) 平均階級値は、好調：5、順調：4、普通：3、低調：2、不調：1とする全22業種の平均値

平成20年4～6月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査一覧表

調査項目 業種	業界景気の現況	業界景気の見通し	静岡県内主要産業の見通し										
			生産量 (4～6月期の 前期比伸び率)	出荷額 (4～6月期の 前期比伸び率)	生産量 (前年 同期比 比率)	出荷額 (前年 同期比 比率)	操 業 度	需 給 バ ラ ン ス	製 品 在 庫 水 準	原 材 料 価 格 の 動 向  (前1～3 月期対比)	製 品 価 格 の 動 向  (前1～3 月期対比)	資 金 繰 り	受 注 残  (カ月)
製茶	●						均 衡	適 正				普 通	
缶詰	●						均 衡	適 正				普 通	0.5～1.0
広幅織物	●						供 給 超 過	過 多				普 通	1.0～1.5
製材	●						供 給 超 過	過 多				普 通	
家具	●						供 給 超 過	過 多				普 通	0.5～1.0
家庭用薄葉紙	◐						均 衡	適 正				普 通	0.1～1.0
白板紙	●						均 衡	適 正				普 通	0.5～1.0
工作機械	⊙						需 要 超 過	適 正				普 通	3.0～9.0
民生用電器部品	◐						均 衡	適 正				普 通	0.3～1.5
二輪車部品	●						均 衡	適 正				普 通	
自動車部品	◐						均 衡	適 正				普 通	0.1～3.0
サンダル	///						供 給 超 過	過 多				普 通	0.5～1.5
楽器	◐						均 衡	適 正				普 通	
プラモデル	◐						均 衡	適 正				普 通	
漁業	◐						均 衡					普 通	
建設	●						供 給 超 過	適 正				普 通	2.0～6.5
大型小売店	●						供 給 超 過	適 正				普 通	
自動車販売	◐						供 給 超 過	適 正				普 通	
運輸・倉庫	◐						均 衡					普 通	
情報サービス	○						需 要 超 過					普 通	
観光・レジャー	●						供 給 超 過					逼 迫	
リース	●											普 通	

表の見方と注意

業界の現況	業界景気の見通し	操 業 度	需給バランス	製品在庫水準	生産量・出荷額の伸び率 原材料・製品価格の動向	資金繰り
好 調 ○	上 昇 ↗	100～90%	非常に需要超過	非常に過少	非常に増加・上昇 (10%以上) ↗	非常に余裕
順 調 ○	やや上昇	89～80%	需 要 超 過	過 少	増加・上昇 (3～9%)	余 裕
普 通 ●	横 ば い	79～70%	均 衡	適 正	横 ば い (2～2%)	普 通
低 調 ●	やや下降	69～60% ⊙	供 給 超 過	過 多	減少・下降 (3～9%)	逼 迫
不 調 ///	下 降 ↘	59%以下	非常に供給超過	非常に過多	非常に減少・下降 (10%以上) ↘	非常に逼迫

(注) 「業界の現況」及び「業界景気の見通し」は、対象企業経営者が業界景気動向をどうみているかを調査したもの。

印欄は季節性が強いため、「前年同期比伸び率」を参照していただきたい。

調査方法は、アンケート調査とヒアリング調査による。

調査時点...平成20年3月中旬。

調査対象企業...県内主要22業種の企業172社。